



健診・ドックがさらに充実しました



医療事務部外来課 井藤 政樹

生活習慣の改善を心がけたとしても、がんをはじめ病気にかかるリスクをゼロにすることはできません。自覚症状のないまま、気づかないうちに病気が進行していることもあります。しかし、病気を初期の段階で発見し、適切な治療を行うことで健康を取り戻せる確率は非常に高くなります。

昨今、国は多額の投資をしても、トータルで見れば医療費を抑えられるとして自治体と協力し、健診(対象を絞ると「検診」)に力を入れようとしています。

松山市でも国の「がん検診促進事業」にもとづき特定年齢者を対象に、子宮頸

がん・乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券の発行や、一部自己負担で「がん個別検診」を受診できる制度を設けるなど、がん検診の受診促進およびがんの早期発見を図っています。

当院はこれらの市町村による検診はもとより、個人や職場単位でのドック・健診、社会保険による生活習慣病予防健診や医師国保健診などの保険者が実施する健診も行っています。

また、これまでの人間ドックに加え「脳ドック」や、乳がん検診と子宮がん検診をセットにした「レディース検診」を新設するとともに、他にも多様なオプション

を用意しています。

さらに日本人間ドック学会・日本病院会認定人間ドックアドバイザー、人間ドック専門医をはじめ、各分野の専門医が多く在籍し、婦人科には女性医師、マンモグラフィー撮影はすべて女性の認定技師が行うなど、安心して受診していただける体制をとり、今後いっそう皆様の健康に寄与していきたいと考えていますので、ぜひ受診をご検討ください。

詳しくは当院ドック・検診係までお気軽にお問い合わせ下さい。また、職場単位での成人病健診も、検査項目などで相談に応じさせていただきますのでご利用下さい。

新S棟建設プロジェクト!

清水建設株式会社
大石 茂さん

大石 茂 (おおishi しげる)

清水建設株式会社設計本部 医療福祉施設設計部 設計長
滋賀県大津市出身。平成4年に京都工芸繊維大学大学院建築設計学を卒業後、清水建設へ入社。奥様と息子さんお二人の4人家族で、東京荻窪にお住まいです。

当院の新S棟建設において、設計部での統括を担当している清水建設 大石さんにお話を伺いました。

Q. 今までに松山を訪れたことはありますか?

A. 松山市民病院を担当することになり初めて来ました。現在は2週間に1回のペースで松山へ来ています。I期工事着工後は毎週来る予定です。

Q. 当院の新S棟建設におけるポイントは?

A. 山本院長との話の中で、心に響いていることが3つあります。

- ①松山の人々にとって心地の良い病院にしたい
- ②エコの手法をできるだけ取り入れたエコホスピタルにしたい
- ③BCP (ビジネス・コミュニケーション・プランニング = 病院としての機能を維持しながら工事を進める計画)を実現する

松山市の窓口にある素晴らしい立地を生かし、基本設計を担当したCM河合氏の意図と、職員の皆様の声をできる限り実現したいと思っています。

完成後には家族でゆっくり松山を訪れたいと笑顔で語っていただきました。今後も新S棟建設に携わっていただいている方々をご紹介しますので、ぜひ予定ですでお楽しみに。



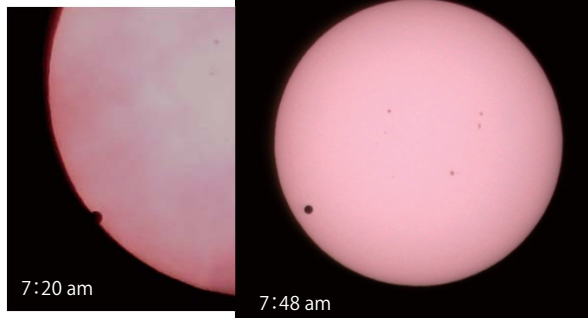
たいよう・千載一遇 Vol.1

①金環日食(Annular Eclipse of the Sun)→カチューシャ型



②金星の太陽面通過 (Transit of Venous across the Sun)

* Kiss of the Goddess



今年は5月21日の金環日食、6月6日の金星の太陽面通過と珍しい太陽関連のビッグイベントが立て続けにあり、私のような天文ファンにはまさに千載一遇のチャンスの到来であった。

早朝より撮影機材を松山市内の自宅に構え待機するも、両日とも、日の出の太陽は位置さえ確認できない程の曇りで、諦めかけていたが、何と午前7時過ぎ頃から、太陽が雲の間より顔を出し始めたのである。

感激しながらシャッター押し続け、目標とした場面の写真を何とか撮影することができた。

(写真・文/神経内科 山下順章)